

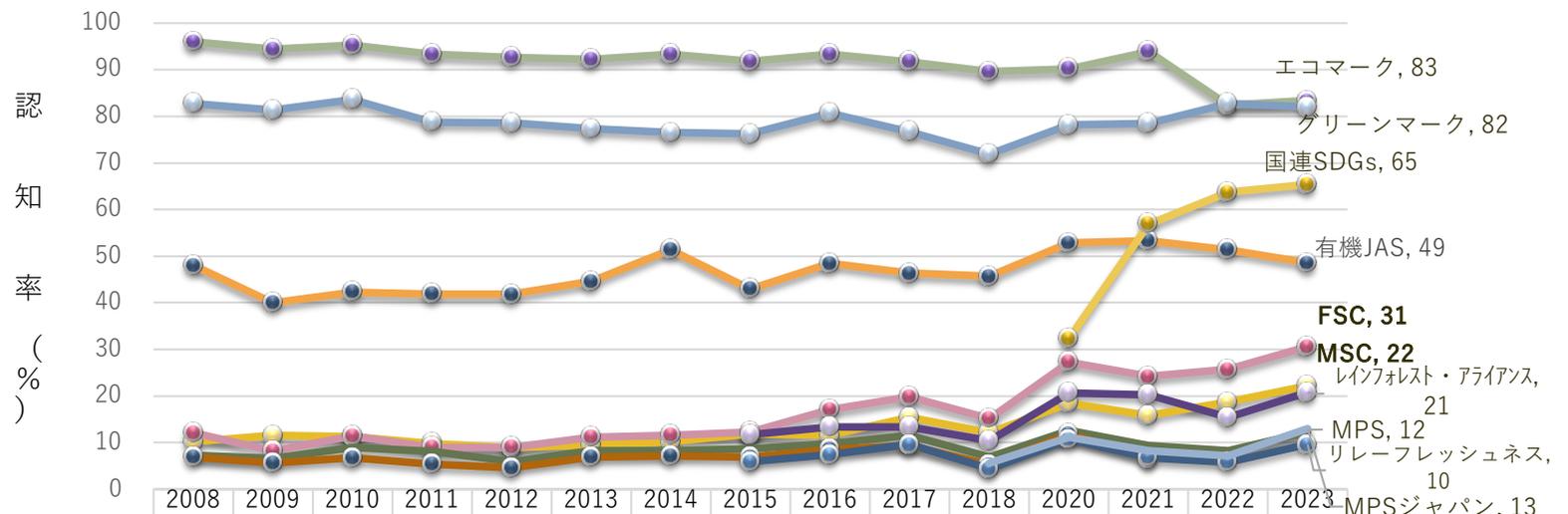
● 環境・品質ラベルの認知率 推移

Q21

MSC（海産品）やFSC（林産品）は、MPSに近い水準でスタートしたが、オリパラや大手小売の調達基準化やPRで普及努力を重ね、2020年代には2～3割の認知率を獲得している

※認知率は「見た事がある気がする」人を含む 特に未普及の認証では要注意 たとえばFFPは欧州の環境ラベルで活動休止・日本で見る機会もまずなかったが、2021年認知率は6.6%（リレーフレッシュネスと同水準）

環境、品質ラベル 認知率 2008～2023年 (n=全数ベース)



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2020	2021	2022	2023				
エコマーク	96.0	94.4	95.2	93.3	92.7	92.3	93.3	91.8	93.4	91.7	89.6	90.2	93.9	82.4	83.4				
有機JAS	48.0	40.0	42.3	41.9	41.8	44.6	51.4	43.0	48.4	46.4	45.7	52.8	53.3	51.4	48.6				
MSC	10.2	11.5	11.3	9.8	8.9	9.5	10.2	11.8	11.5	15.4	12.1	18.5	15.8	18.7	22.2				
FSC	12.1	8.2	11.4	9.0	9.0	11.2	11.6	12.3	17.1	19.8	15.2	27.3	24.2	25.7	30.6				
グリーンマーク	82.8	81.3	83.6	78.8	78.6	77.3	76.5	76.2	80.7	76.7	71.9	78.2	78.5	82.8	82.0				
MPS	7.3	6.5	8.9	8.1	5.9	8.3	8.3	8.7	9.8	11.5	6.9	12.6	9.3	8.3	12.2				
FFP	6.9	5.6	6.7	5.4	4.6	6.9	7.1	6.9	8.6	9.4	5.2	11.9	6.6						
レインフォレスト・アライアンス												11.7	13.4	13.3	10.4	20.7	20.3	15.4	20.8
リレーフレッシュネス												5.9	7.4	9.6	4.4	10.7	6.8	5.8	9.6
国連SDGs																32.3	56.9	63.7	65.4
MPSジャパン												5.6	11.1	8.3	7.2	13.0			

注：認知率は、ラベルを「見た事がある」と「意味が分かる」の合計
 2017年以前のデータはMPSジャパン提供。2021年まで男女比4：6、n=520、2022年から5：5、n=600。2008～2021年はマクロミル、2022年からインターネットで調査。2023年未既婚比を国勢調査に準じて調整、n=500。2019年は認知と購入を同時に聞く形のため除外
 出典：国産花き生産流通強化推進協議会（2023）「花の消費選好」

● 重視する表示 野菜

Q23

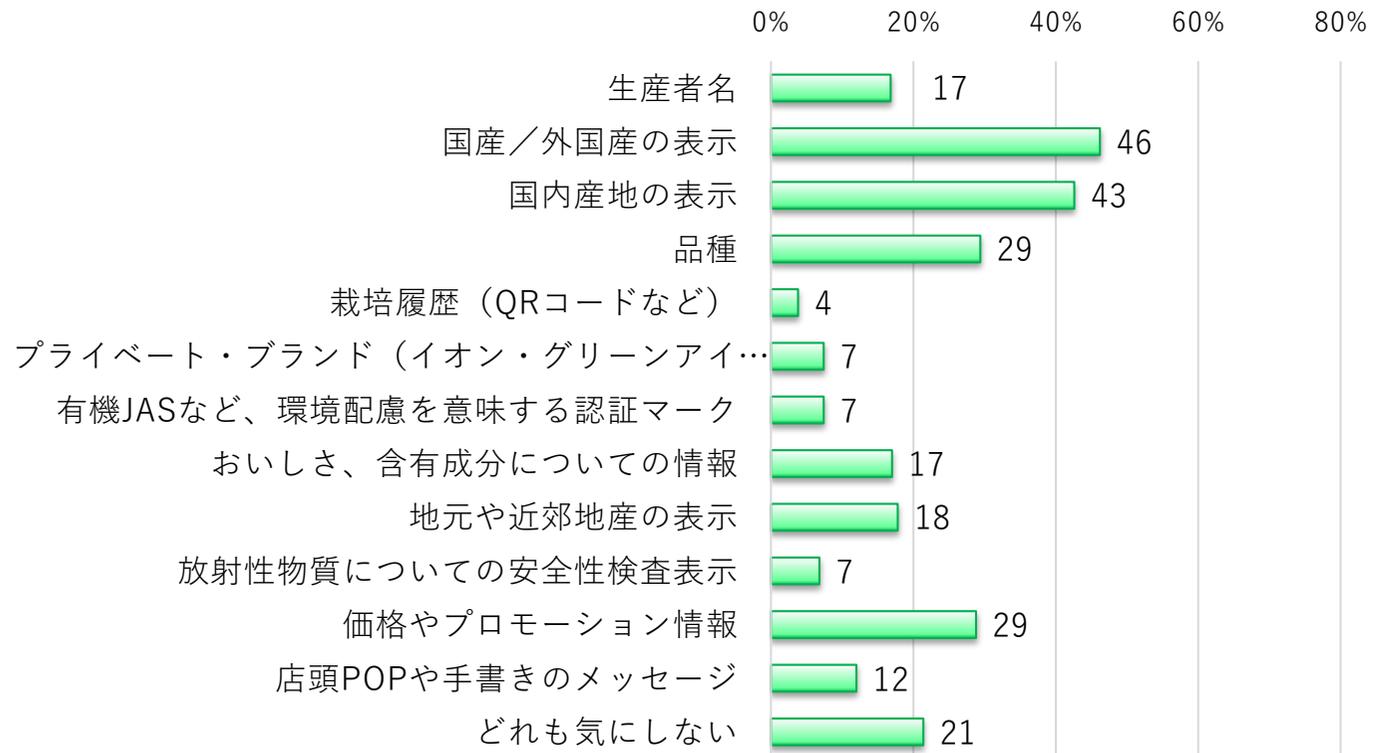
野菜では、産地関連が上位（「国産／外国産」46%、「国内産地」43%）

次いで「品種」と「価格やプロモーション情報」が並ぶ（29%）

環境配慮表示を重視する人は少なく、7.4%

表示のない（見かけたことのない）項目については、仮定で回答してもらっている

野菜 重視する表示（複数回答、n=500）



出典：国産花き生産流通強化推進協議会（2023）「花の消費選好」